



「中高生向け調べものの部屋の 準備調査プロジェクト」報告

国立国会図書館国際子ども図書館
児童サービス課長 西尾 初紀

講演会「子どもの探究活動と図書館の可能性」
平成26年7月6日(日)

1

国立国会図書館 国際子ども図書館

- (立法府)国立国会図書館の一組織
- 国立の児童書専門図書館



- 児童書や子どもの読書に関わる様々な活動を支援

⇒子どもの読書活動推進の現場に還元できる
調査研究を実施



2

本日の発表

対談につながる部分を中心にプロジェクトの成果を報告し、「調べものの部屋」の概要(案)を紹介します。

- プロジェクトの概要(報告書*1章)
- 調査の結果(報告書*2~5章)
- 結果の考察(報告書*6章)
- 「調べものの部屋」概要(案)
- おわりに:対談に向けた論点提示

*国際子ども図書館調査研究シリーズ第3号『学校図書館におけるコレクション形成:国際子ども図書館の中高生向け「調べものの部屋」開設に向けて』



プロジェクトの概要



4

中高生向け調べものの部屋の 準備調査プロジェクト

- 「国際子ども図書館子ども読書活動推進支援計画2010」で掲げた学校図書館支援の取組

<目的>

平成27年度に新設する中高生向け「調べものの部屋」のコレクション形成の参考に資するために、学校図書館のコレクション形成の現状とその効果的な方法を探る



5

中高生向け調べものの部屋の 準備調査プロジェクト

- 期間
平成24年度～平成25年度



- 研究会
 - [主査] 中村百合子 氏(立教大学文学部 准教授)
 - 青山比呂乃 氏(関西学院千里国際中・高 司書教諭)
 - 安形輝 氏(亜細亜大学国際関係学部 准教授)
 - 国際子ども図書館 児童サービス課企画推進係



6

プロジェクトで実施した調査

- ①文献調査 [中村・児童サービス課企画推進係]
- ②学校図書館事例調査 [児童サービス課企画推進係]
 - 充実した活動を行っている学校図書館10館
 - 各館のコレクション形成の実態と選書の情報源を探る
- ③学校図書館の蔵書データの分析調査[安形]
 - ②の10館+3館分の蔵書目録データを統計的に分析
 - 先進的な中学校図書館の蔵書傾向等を明らかにする
- ④実務者インタビュー調査[青山]
 - ②の学校図書館担当者に対するグループインタビュー
 - 実務者が持つコレクション形成の暗黙知を探る



調査の結果



今日は、四つの調査の結果について、対談テーマに関係する部分をご報告します。各調査の詳細は、報告書をご覧ください。



① 文献調査

学校図書館のコレクション形成をめぐる議論(2000～)

- **日本語雑誌記事**
 - 学校図書館の「コレクション形成」に焦点を当てた学術的論稿は皆無(資料選定に関する論文はあり)
 - 蔵書の量的拡大を目指すことへの言及が多い
- **日本語図書**
 - 司書教諭科目「学校図書館メディアの構成」の教科書が多く出版 →コレクション形成に関する用語の定義・使用法が教科書によって異なる



① 文献調査

● 英語雑誌記事

- (実践報告を除くと)以下の内容が多い
 - コレクション形成におけるマネジメント・サイクル (PDCAサイクル)
 - 電子資料を始めとする多様な資料の選定
 - 知的自由の原則と検閲

● 英語図書(学校図書館のコレクション形成に特化した10冊を分析)

- マネジメントの観点からコレクション評価・除架・除籍の重要性を強調
- 現場で活用可能なツール類を紹介
- 10冊以外に、コレクション形成、学校図書館の運営に関する図書中で、学校図書館のコレクション形成が議論されている



② 学校図書館事例調査

学校図書館のコレクション形成の実態

[調査前] 充実した活動を行う学校図書館10館に共通する傾向を明らかにすることで、コレクション形成業務の効果的な方法を探る

[調査後] 運営資源や業務の実態に明確な共通性は見られないことが判明

一般化ではなく、各校の実践例を列挙する形で調査結果を整理(詳細は報告書)

- ◆ 学校・学校図書館の概要
- ◆ 資料選定の方法・選書関係者
- ◆ 資料選定に影響を持つ授業・イベント
- ◆ 資料選定の情報源 等



② 学校図書館事例調査

調査対象校の概要(平成23年調査時点)

学校	学級数	図書館の対象	蔵書冊数(冊数)	資料購入費(万円/年)	貸出数(冊)
公立共学中学A	17	中	13,000	80	6,000
公立共学中学B	15	中	17,000	60	20,000
国立共学中学C	12	中	22,000	200	12,200
私立共学中学D	14	中	55,000	700	20,000
私立男子中学E	22	中	32,000	250	23,000
私立女子中学F	12	中	28,000	210	10,000
私立共学IS・中高一貫G	21/35	幼～高	69,000	600	6,000
私立共学中高一貫H	49	中高	41,000	500	40,000
私立男子中高一貫I	42	中高	82,000	700	11,000
私立男子中高一貫J	30	中高	79,000	600	14,000

*私立共学IS・中高一貫Gは、インターナショナルスクール(幼～高)に中高一貫が併設されている学校。
*各校で採取範囲・単位が異なる場合があるため、数値の比較には注意が必要。採取範囲・単位等の詳細は、報告書p.29 表3-2(1)を参照のこと。

② 学校図書館事例調査

資料選定に影響を持つと担当者が考える教科・イベント(中学のみ抜粋)

公立共学中学A	中1～中3図書館を使った調べ学習、国語、社会、家庭、美術、理科、校外学習や修学旅行の事前学習、朝の読書タイム
公立共学中学B	中1～中3総合学習、数学以外の教科、必読書リスト
国立共学中学C	中2～中3テーマ研究、国語、社会、家庭、保健体育、英語の多読用図書
私立共学中学D	中1～中3読書科、国語、数学、理科、美術、技術など、推薦図書リスト
私立男子中学E	労作展(自由課題)、中1図書、理科、数学や社会の宿題、国語での生徒によるブックトークなどイベント
私立女子中学F	中1国語・社会、中2職業インタビュー・国語・音楽・家庭・宗教、中3美術・国語・社会・理科・家庭、必読書リスト



13

② 学校図書館事例調査

[考察] 各校のコレクション形成業務の背景にある学校図書館担当者の意識を「志向性」として整理

学校図書館のコレクション形成に影響を与える志向性

- 【志向性 i】利用者ニーズの重視
- 【志向性 ii】読書材提供の重視
- 【志向性 iii】情報リテラシー育成への貢献
- 【志向性 iv】大人の読書への橋渡しの意識
- 【志向性 v】大学教育への知的継続性

※志向性は、複数の事項が異なる比率で組み合わせられて、各校の業務に影響を及ぼす。



14

③ 学校図書館の蔵書データの分析調査 共通する資料群と学校図書館の特徴

10館+3館から提供を受けた、ほぼ全ての蔵書目録データを統計的に分析

[調査前] 全館が所蔵するタイトルのリスト=学校図書館のコレクションの核となる資料群

[調査後] 全館に共通するタイトルは少なく、④インタビュー調査でもそれらがコレクションの核となる資料群に当たらないことが指摘

- 13館所蔵→『13歳のハローワーク』
『きみの友だち』
『素数ゼミの謎』
- 12館所蔵→『いのちの食べかた』など8タイトル



15

③ 学校図書館の蔵書データの分析調査

調査対象校の概要(平成23年調査時点)

学校	生徒数(概数)	図書館の対象	調査対象とした蔵書データ数
公立共学中学A-1	450	中	10,503
公立共学中学A-2*	500	中	11,162
公立共学中学A-3*	300	中	10,422
公立共学中学A-4*	140	中	10,655
公立共学中学B	500	中	16,241
国立共学中学C	480	中	23,320
私立共学中学D	600	中	52,653
私立男子中学E	720	中	35,996
私立女子中学F	350	中	28,404
私立共学IS・中高一貫G	450/700	幼～高	39,109(和書)
私立共学中高一貫H	2,000	中高	44,468
私立男子中高一貫I	1,800	中高	69,646
私立男子中高一貫J	1,100	中高	72,905

* 付きの学校は、調査③のみの対象校で、公立共学中学A-1と同じ自治体の学校。公立共学中学A-1は、スライド13の公立共学中学Aと同じ学校。

③ 学校図書館の蔵書データの分析調査

所蔵館数が多い参考図書類(著作単位で名寄せ)

所蔵館数	タイトル	出版社
13	ギネス世界記録	ポプラ社など
13	日本国勢図会	矢野恒太記念会
13	世界国勢図会	矢野恒太記念会
13	朝日ジュニア学習年鑑	朝日新聞出版
13	広辞苑	岩波書店
12	日本のすがた	矢野恒太記念会
11	数え方の辞典	小学館
11	世界大百科事典	平凡社
11	教科書にできる人物学習事典	学習研究社



17

④ 実務者インタビュー調査

中学校に適したコレクション形成とは

- ・ 事例調査対象校10館の担当者に対するグループインタビュー(2013年6月に2回に分けて実施)
- ・ 学校図書館実務者が持つコレクション形成に関する暗黙知を探る

2回のインタビューに共通する話題

- (1)中学生の特性について
- (2)指導の留意点について
- (3)コレクション形成の留意点について



18

④実務者インタビュー調査

(1)中学生の特性について

- 中学生の発達段階: 反抗期と他者性・多様性への気づき。「もう子どもではない!」というプライド
- 中1~中3の年齢による差が大きい
- 言語発達の個人差が大きい。漢字・言葉の概念や概念間の関係は学習途上
- 唯一の正解がない問いに取り組む、大人の複雑な探究活動への入口に立つ年齢層
⇒大人の探究活動につなげる指導が必要
- 自由な探究学習で生徒が選ぶテーマには傾向がある



19

④実務者インタビュー調査

【生徒がよく取り上げる自由研究テーマ】

- どの学校でも、毎回必ず希望者がでるテーマ
- 戦国武将(織田信長など)
 - ユニバーサルデザイン・バリアフリーなど
 - 和食・各国料理
 - 地震・津波(災害対策・援助を含む)
 - 環境問題(異常気象、地球温暖化、リサイクルなど)
 - 睡眠・夢など
 - ゲーム・アニメーション
 - スポーツ医学(アスリート、筋肉など)
 - 戦争と平和(原爆、広島、長崎、沖縄など)



20

④実務者インタビュー調査

(2)指導の留意点について

- 図書の使い方ー自分で必要な情報を切り出すための使い方の指導が必要
- 知りたいことと資料を結びつけるための“概念の体系化”の指導
- 授業での図書館と図書館資料の効果的な利用法ー斉授業と探究学習の違い(カリキュラム上なぜそこで図書館を使うのか)
- 教科教員の認識度向上、協働の仕方



21

④実務者インタビュー調査

(3)コレクション形成の留意点について

【中学生に適した資料の出版状況(実務者の認識)】

- 調べものの本は、小学校高学年向けまではあるがその上は大人向け。中学生向けが抜けており、児童書と一般書の間には差がある
→易しい本も難しい本も両方そろえる意義
- 文章だけの本は使いにくい。特に、中1には図解が必要。ただし、やる気があれば文章だけの本も読む
→生徒のモチベーションが影響
- 中学生が知りたがるテーマと使える本との間にギャップがある→よく取り上げる自由研究テーマ



22

④実務者インタビュー調査

【コレクション形成の方法】

1. 百科事典的にあらゆる分野について網羅的にコレクションする。小学校高学年から中学校向けの言語レベルの図書を中心に収集、提示する
2. 自由研究で生徒が選ぶ可能性が高いテーマについては、一般書まで収集し、生徒が内容を理解できるように利用指導上の工夫をする



23

結果の考察

~“探究学習”を中心に~



24

多様なコレクションと探究学習

- コレクション形成の業務も出来上がったコレクション自体も、学校間の重複は小さかった(調査①、②、③)
- 対象校の学校図書館には、探究学習への積極的な関与が見られた
 - 「資料選定に影響を持つ授業・イベント」に探究学習が含まれている(調査②)
 - 担当者の探究学習の重視(調査④)

⇒ 探究学習で取り上げられるテーマに応じたコレクション形成 ⇒ 各校の個性



25

多様なコレクションと探究学習

日本の学校図書館の新しい使命 = 探究学習の実現

- 複雑な問いについて多様な情報源を用いて多角的に考察させ、問題解決能力の育成を目指す授業・課題

⇨ 資料から一つの正解を探す単純な調べ学習



26

「調べものの部屋」 概要(案)



27

中高生向け「調べものの部屋」案 Teens Research Room

- 平均的コレクション規模の学校図書館で実現可能な探究活動支援のモデルケース(約1万冊)を意図⇒学校図書館支援の一環として、この部屋で得られた知見をホームページ等で公開
- コンセプトは“図書館は探究の入口”
- 中高生の“知りたい”を支援するとともに、成人向けサービスへと橋渡しをする図書館サービスを提供する



28

中高生向け「調べものの部屋」案

- 主要なサービス(予定)
 - 中高生の自由研究の支援
 - 探究活動の体験プログラムの提供
 - 修学旅行・校外学習での団体利用を想定
 - 成田氏・青山氏の監修でプログラムを作成(H26~)
 - 教科書を起点とした読書案内
 - 探究活動の支援に関する情報提供
 - “図書館は探究の入口”の啓発
- 開室予定: 平成28年2月
- 場所: 現第一資料室



29

中高生向け「調べものの部屋」案

- プロジェクトの成果を踏まえ、コレクション構成は以下のとおりとする
 - ① 学校図書館の基礎となる資料群
全国SLA『学校図書館基本図書目録』
 - ② 「重点収集分野」の資料群(後述)
 - ③ 「特定収集テーマ」の資料群(後述)
 - ④ 教科書を起点とする読書材
中高の教科書及び教科書掲載作品を揃える
 - ⑤ 電子情報
「近代デジタルライブラリー」や、「JapanKnowledge」などのデータベース(主に体験プログラムでの利用)
 - ⑥ 図書館による探究活動支援に関する基本図書
中高生の探究支援に関する基本的な研究書・関連書



30

中高生向け「調べものの部屋」案

②「重点収集分野」の資料群 8分野

体験プログラムの分野及び中高生に人気のある分野。分野ごとに1クラス分の生徒が十分に使える冊数を揃える。分野の指定は収集計画で行う。

【重点収集分野】 職業、世界の国々、東京・上野、理科、探究・調べもの、クラブ活動など

③「特定収集テーマ」の資料群 約100テーマ

中高生が自由研究や探究活動の中でしばしば取り上げるテーマ。テーマごとに全般的な調査に最低限必要な冊数を揃える。テーマは分野よりも粒度の細かいものを想定。

【特定収集テーマの例】 織田信長、ユニバーサルデザイン、和食、地震、津波、地球温暖化、アニメーション など



31

おわりに

対談に向けて 論点提示

今日は、報告書では十分深められなかった“探究”について対談で取り上げます。



32

子どもの探究活動と図書館の可能性

- “探究”とは？
 - － 子ども(特に中高生)の探究活動の意義
 - － 国内外における取り組み(動向)
- “探究”を促すために
 - － 学校図書館ができること
 - － 国際子ども図書館「調べものの部屋」に期待すること



33

ご清聴ありがとうございました



プロジェクトの記録と成果報告書は
国際子ども図書館ホームページをご覧ください。

- ・記録 <http://www.kodomo.go.jp/promote/school/room.html>
- ・報告書 <http://www.kodomo.go.jp/info/series/index.html>



34